

司会の川上副会長が、「45年ぶりの大雪で、売り上げも上がり、皆さまとても良いお顔をしています。」と開会を宣言し、続いて小堤会長が「雪の話題になります、かつては配送も現在とは違い、雪が降ると営業担当者に連絡を入れ、商品を運んでもらったことなどを思い出します。参加者も年々減少しておりますが、来年はガンバの会の皆様にも是非、参加頂き、若手との親交を深めて会を盛り上げたい。」と挨拶。



東靴協会親和会の平成二十六年年度の総会および新年懇親会が、記録的に降った雪が残る二月十九日、箱根湯元温泉「ホテル南風荘」において17名が参加して開催された。

親和会総会 新年懇親会開催



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656

(3月号)

森理事の中締めで、和気あいあいの中、会は終了した。
二次会はクラブに場所を変えて行い、自慢の喉を競い合い、盛り上がり続けた。来年は、ぜひ若手の皆様にも、多数ご参加を頂き、さらに楽しい会にしていきたいものです。



続いて長老の川上徳三氏の乾杯の音頭で新年懇親会に入った。
話題は、もっぱら雪の話で、昔の良かった時代の手話や、苦労話など花を咲かせていた。

講師には都立職業能力開発センター台東分校製靴科講師・日本靴小売商連盟シューフィッター講師の鈴木信行氏が担当し「役立つアシストメント」の演題で行われた。
講義の前に佐宗専務理事より、「今年から新規に受講する場合は講座をFHAに委託し

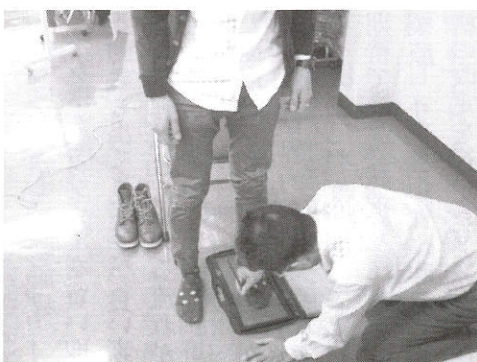


平成26年2月13日午前10時より当協会に西村記念ホールにおいて、37名が参加して、シューフィッター既得者勉強会が開催された。

既得者勉強会開催

シューフィッター

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします



後半は実習を交えフットプリンターを使って、プリンターから読める足の特徴やパッドを入れる位置などの実践的な内容で進んだ。
ポイントを分かりやすく説

て行うようになった。
更新については小売商連盟が行う。また、講義内容で異なる部分はFHAに合わせる。FHAで上級コースを受講する際は現在の資格で受講できるが更新などはFHAの規定に従うことになる。」と解説の後、鈴木講師を紹介し講義に移った。
講義の前半は復習も兼ね、テキストに沿って説明があった。各骨の位置の確認、縦・横アーチの確認さらに基本的なパッドを入れる位置などの講義が続いた。

☆中堅社員研修会参加者募集☆

《顧客満足につなげる

「クレーム対応の勘所」研修》

日時：4月16日(水) AM10時-PM5時45分

会場：当協会「西村記念ホール」

講師：(株)インソース 平泉 由美 先生

参加費：2,000円

申込み：事務局 TEL 03-3252-5656まで



明し、講義の二時間が短く感じました。講義終了後も何人かが熱心に質問をしていた。
この勉強を実戦で武器として販売に役立てていただきた

岩崎幸次郎氏に聞く ①

去る2月14日に日本皮革産業連合会会長、(株)リーガルコーポレーション社長の岩崎幸次郎氏に、栗原茂当協会副会長が、業界の現況等について、お伺いした。



左より小堤会長、岩崎会長、栗原副会長

栗原 皮革産業界を取り巻く環境が厳しくなっています。円安について、4月からの消費税値上げ、そして原皮の高騰について等、お伺いいたします。

織研新聞の岩崎氏のインタビュー記事によりますと米国の原皮が50%欧州の原皮が100%上昇していると掲載されていましたが？

岩崎 これはリーガル社の場合としてですが、特にドレスシューズに使っているキップベースの原皮でオランダからの革は一年半前には1頭が約1万円円だったものが現在は倍の2万円

になり、さらにその金額を出しても品薄で入ってこない状況になっています。定期発注しているのに入荷が無い訳ではないが、入荷が半月から一ヶ月ほど遅れることもあるのです。

また、現在の価格で安定するのにかついても先行きは不確定で、北米からのステアも異常気象での牛の低温死や屠殺の減少などで供給量の不足が起き、50%も高騰しています。さらに、中国の買い付け量が落ち込み、先行きは原皮が下がることはない状況です。これに為替が円安に進むとさらに厳しくなるでしょう。

また、底材などの合成ゴムは原料のナフサが1年で30%の値上げになっているので、こちらも下がる要素はない状況です。

栗原 革は中国でもインドでも利用水準が上がっていると聞いていますが、靴以外の家具や自動車などにも利用されているようですね。

岩崎 世界の屠殺量は南半球で増え、北半球で減少しているが、総数はあまり変化していません。中国の場合は自動車産業が活発になり、シートやハンドルの需要が増えているよう

です。中国のマーケットは増えていますが、ヨーロッパの自動車メーカーが中国で生産し、流通が複雑になっているので、すべて中国で消費しているとは限りませんが、革の利用は増えています。

中国での原皮生産もあるのですが、製品にばらつきがあり、日本では使用しにくい状況です。

栗原 以前エチオピアの革も、とお聞きしましたが？

岩崎 エチオピアからの原皮ですが、エチオピアシープと言われレベルも高いが、ステアは日本のマーケットで利用するレベルではありません。外資系の数社も、エチオピアでの生産を手がけ始めたので期待をしています。しかし、政府が国内産業(なめし)保護のため輸出条件を厳しくしてきています。つまり原料としての皮は輸出せず、国内で皮革として仕上げたもののみの輸出を認める方向になつてきました。

今後、靴を履く人口が増え、さらに自動車、家具などの利用が増え続けると、革の生産は限られるので、厳しい環境になつて行くでしょう。

ヨーロッパではラグジュアリーブランドが、タンナーを買い取る動きも出てきました。良い素材の争奪戦ともいえる流れが起つています。皮は食用にした副産物を利用するため量が限られ、世界的な健康志向の動きからも量が増えることは期待できない状況です。

栗原 リーガル社は昨年、価格の改定を行いました。今後、は？

岩崎 昨年一年半ぶりに改定をしました。ここで消費税が上がりますが現時点では次の改定は考えていません。今後、よほど条件・事情などが変化した場合は別ですが、永く我慢せざるを得ない状況だと考えています。

栗原 それをお聞きして、安心しました。(笑い)

岩崎 タンナー(革屋)さんからは値上げの要請は有りますが、拒否しても材料が手に入らなければ、生産できなくなり大変な時代です。輸入の革も使用しますが、日本の革は世界に出しても劣らない品質で、それを失うと生産はできなくなります。リーガルでは現在四つの工場で約65万足の生産を

しています。その体制に穴が開くことになれば大きなダメージになつてしまいます。今はタンナーさんに原料の確保をお願いするしかなく、かなり厳しい環境です。

栗原 今までに、このようなことは経験されましたか？

岩崎 過去にも買占め等で急激な値上がりはありましたが、半年は続かず、元値までは下がりませんが値下がりするものでした。現在の状況は、先行きの見通しでも下がることはなく、経験したことが無い事態です。特に品質の良いものは深刻な状況です。

栗原 この状況は続きそうですね。

岩崎 北米のタンナーズ協会のレポートには、少なくとも一年以上は続く、とありました。

栗原 大変な問題ですね。銀座の有名小売店もオリジナル商品の生産は、革を買い付け、それをメーカーで生産してもらうOEMが多いですが、革がなかなか手に入らないと言っていました。

岩崎 婦人靴関係は、少し手遅れではないかと感じます。今

(2面より続く)

までは、商社やタンナーの在庫があり、価格が上つても出荷してくれていたが、その在庫も無くなつてきています。

栗原 今年の秋冬のブーツは大変そうですね。

岩崎 この現状ですと、かなり先へ先へと考えていかないと大変なことになりかねません。

今後は人工皮革や若干の格外革なども上手に利用して行かざるを得ないでしょう。

人工皮革も研究が進み、厚みやシワの感覚・通気性など材質感で、クオリティーが高いものも出てきています。二・三カ月でシワシワになつてしまう革靴と、人工皮革だが、しつかりした靴と、どちらが良いか。そんな時代になってきますね。

栗原 特に若年層では材料にあまりこだわらないのではないのでしょうか。ある意味、大きな転換期が来ているのではないのでしょうか。

岩崎 トップレベルの人工皮革は価格的にも革を上回る物も有ります。また、低価格品にあえて革を使う必要もないでしょう。スポーツシューズでサッカーシューズや野球のスパイク

シューズ等は、以前は柔らかさなどからカンガルーの革が良いとされてきましたが、現在では伸縮性・通気性・柔軟性などの条件からか、ほぼ100%人工皮革でできています。革が本当に良いのかを見直し、靴としてのクオリティーを担保し、マーケットに投入していくべきだと考えます。

海外で貿易の仕事をしていいたときに感じましたが、日本向けに商売をしてくれる企業はそれほど多くありません。ロットが少なくクオリティーの高さを要求する、など超大手企業は相手にしてくれません。その環境で高品質の材料の手配は非常に大変なことなのです。売り上げも現在は最盛期と比較すると半分を割っていますが、まだ他社と比べると落ち込みは低い方です。それは顧客がリーガルブランドを支えてくれていたからだと感じます。それにどう答えるかを問われることになります。リーガルのファンは、革のこと靴のこの知識が高いので、質を落とすことはできません。昨年価格を上げた際も苦情は少なく、品質は落とすなという意見が多く

有りました。靴は履けば、屈曲するので、素材の良し悪しが出てしまいます。だから手を抜くことはできません。そこで、現状の当分続くというより常態化している、革不足の流れの中で原料の手配は、かなり努力していかなければならないと考えています。(次号へ続く)

役員会・支部会

だより

平成二十六年二月二十五日
午後二時半、西村記念ホール

司会の川上副会長より、本日の参加者26名の報告の後、会長が「先日雪で業界としては、とてもありがたい状況でした。」

19日には楽しく親和会の新年会も行われました。間近に迫った消費税増税に対する準備も整えておきましょう。」と挨拶。議事に入りました。

一、日本靴小売商連盟総会の報告について

小堤会長より、さる1月29日に日本靴小売商連盟総会が副会長の吉村修二様はじめ委任状含め20名の出席で開催され、各議案満場一致で採決された。また、今年度より、シュー

フィッター養成講座の東京講座をFHAに委託することが正式に承認されたことを報告した。

二、親和会総会・新年会の報告について

川上副会長より、2月19・20日に箱根湯本「南風荘」で親和会総会が開かれ、減りつつある会員増強を決議したと報告。

三、靴まつり「お買い物券」の結果(速報)について

田中理事より、「靴まつり」のお買物券の実績について、ほぼ80%を超える回収と報告。

四、靴の記念日の式典及び催事について

田中理事が引き続き、「靴の記念日」催事の件で本日配布したポスター、しおり、お買物券の告知、ハガキ等々、ツールについて詳細に説明した。

栗原 茂副会長(日本靴連盟監事)より、今年来年は小堤会長が日本靴連盟会長でもあるので、「靴の記念日式典」(今年は3月14日午前10時30より)に支部長、理事は多数出席するよう要請した。また、今年は日本靴連盟に所属する団体の会員企業にもポスターを配布し「靴の記念日」の啓蒙に努めることにした。と報告。

五、委員会報告について

(工場見学、既得者勉強会、ガンバの会)

矢代副会長の代理で佐宗専務理事が工場見学の件を「とうくつ」やアンケート結果を披露しながら報告した。また、佐宗専務理事が2月13日のシューフィッター既得者勉強会は約40名の参加で日常役立つアジャストメントということで皆熱心に鈴木信行 講師の講義を受けていた。と報告。ガンバの会についても審議内容が詳細に報告された。

六、平成26年度事業計画書案・予算書案について

佐宗専務理事より、標記については今回より予算総会による議決が不要になった為、3月の常務会、理事会で暫定予算案を審議決議し、5月の総会で平成25年度の決算と一緒に承認を得ることになった。と説明。

七、その他

佐宗専務理事より、会員の一部から修理表の改定を行つてはどうかと言う提案が来ている。については事務局に情報を寄せて頂き、松戸常務理事に纏めて頂くと要請。一同了解した。

★投稿募集★

これからは皆様には喜ばれる記事として、身近な出来事も取り上げてまいります。街のこと、業界のこと、旅の思い出など、情報、投稿をお待ちしております。

業 界 情 報

大手3社で靴小売店舗数
3割を占める

総務省・経営センサスによる靴小売業の店舗数は12年2月現在で7961店舗だった。このうち従業者2人以下の店舗は2996店舗で、この5年間で年平均319店舗が減った。

3〜4人は5年間で2027店舗で145店舗の減、5〜9人は同2341店舗で77店舗の減、10〜19人は同533店舗で、5年間で13店舗増、30人以上は、同19店舗で1店舗減。小規模店舗ほど減少が大きく、中規模以上は増加し、大手チェーンの店舗増加が顕著で、この流れは13、14年とさらに加速している。

同時点での大手3社の店舗数は2464店舗で31%を占め、販売額では、両方のデータを鵜呑みにすれば60%近くを占める。(靴市場全体では20%弱)加えて、大手3社はP・B・N P・Bの比率を高める方針を打ち出しているから、さらに靴売り場の同質化が進み、魅力ある多様な売り場が縮小する可能性もある。また、独自の提案型売り場構築をはかっているメーカーにとつては、売り場縮小という危機を迎えることになる。メーカーは、今こそ中小規

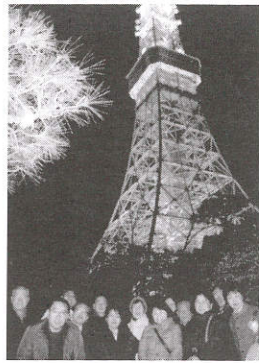
模の自前小売店との共同作業による魅力ある売り場づくりを強力に進めなければならぬ。そして、個々の生活者に対応し社会的責務を果たして業界の価値を高めることが必要である。

(シューズポスト誌より)



板橋支部

板橋支部(長谷川孝二支部長)では、二日前に降った記録的な大雪が残る二月十七日(月)に、東京タワーの足元、芝公園にある「とうふ屋・うかい」に於いて、新年会を開催しました。



参加者は五店舗ながら、皆ご夫婦同伴で従業員の参加もあり13名を数えました。

雪商戦も一段落し、皆売り上げ増もあり、きげん(?)も上々の中、高級とうふ会席料理を堪能し、話はずみでした。

これから来る消費税や資材高騰、円安等での仕入れ単価増等々、本当に大変なハードルが待ちかまえていると思いま

すが、大型店では出来ないお客様へのサービスを心掛け、生きのびて行こうと、一本締めで盛り上がり散会致しました。



今回の新年会は、日頃迷惑をかけている奥様方にも参加して頂きたく、眺望の良い場所で行いましたが、皆さまの笑顔が輝いていました。必ずや明日からの活力になる事でしょう。

世田谷支部

世田谷支部(田中省支部長)では、二月十七日(月)に下北沢駅前前の「大庄水産」において、支部員9名の参加で、平成二十六年年度総会及び新年懇親会を開催した。

山中幹事の司会で進行し、支部長が「今回は多くの皆様方が参加しやすいよう、地元で開催することにしました。この後の議事進行がスムーズに運びますよう、よろしく」と挨拶し、支部長を議長に選出し議事に入った。

景況についてのアンケート結果
(対象月…26年2月)

▶ 全体的な業況

良 い 21.4%
悪 い 57.2%
変わらず 21.4%

▶ 売上げ

前月比 増えた 0.0%
減った 50.0%
同 50.0%
前年同月比 増えた 15.4%
減った 50.0%
同 28.6%

▶ 販売価格は前月比

騰貴した 7.1%
下落した 28.6%
同 64.3%

▶ 販売経費は前月比

増えた 7.1%
減った 7.1%
同 85.8%

東京都中小企業景況調査 (1月)

業 況：横ばい続く
見通し：一転して降下

卸売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	1 月		今後3か月間見通し(当月比)	
875	326	37.3%	悪い	良い	悪い	良い
衣料・身の回り品	1. 男子服					
	2. 婦人・子供服					
	3. 靴・履物					
	4. かばん・袋物					
	5. 装身具・身の回り品					
小売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	1 月		今後3か月間見通し(当月比)	
875	269	30.7%	悪い	良い	悪い	良い
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具					
	2. 男子服					
	3. 婦人服					
	4. 子供服					
	5. 靴・履物					
	6. かばん・袋物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時計・眼鏡					
	9. ジュエリー製品					



平成二十五年度の事業報告・収支報告・監査報告が承認され、続いて平成二十六年年度の事業計画・予算案も承認され総会は無事終了した。

その後、会席料理を堪能し、和氣藹々の中、秋に開催予定の親睦旅行の話題など、今後の活動方法など話が盛り上がり親睦を深めた。